

♪ 大府市立北山小学校 学校だより



よい子に北山



令和7年8月30日 第30号

7月30日(火)・31日(水) 5年生 野外活動

本年度も「大府市野外教育センター（新城市作手）」で野外活動を行いました。大府市と比べ標高が高い分、いくらか涼しさを感じられる場所や時間帯はありましたが、暑さ対策は必須でした。そんな中、学年目標「Galaxy」のもと「楽しく 仲良く！ 大事な思い出 キャンプで染まる！ 光り輝け 5年生」をスローガンに、一人一人が仲間と心と力を合わせ、輝くことをがんばりました。

「輝く」って、自分から光を放ち人を照らすこと。つまり、自ら考え、人のために行動する姿だと考えます。その意味で、多くの子が輝いていた野外活動でした！

また、あえてする不便な生活を通して、大府で過ごす日常がどれだけ恵まれた生活なのか、改めて感じることもできたのではないかと思います。





きたちゃんインフォメーション



◆保護者の皆様からも「不安や悩みがあったら話してみよう」と伝えて！◆

児童生徒の自殺は、8月後半から増加し、特に長期休業明けにかけて増加する傾向があります。

また、厚生労働省・警察庁の自殺統計によると令和6年の児童生徒の自殺者数は、529人と過去最多となったそうです。別添「小学生のみなさんへ～不安や悩みがあったら話してみよう～」等を参考に言葉かけをお願いいたします。身近な人に相談しづらいとき用に、電話やSNS等で相談できる窓口があります。ご活用ください。

【子供対象】

＜24時間子供SOSダイヤル＞

電話番号 0120-0-78310（なやみ言おう）

【子供(小4～中3)対象】

＜SNS相談窓口「あいちこども相談」＞

LINE ID：@aichi-kodomosoudan

※毎週火・木・日曜日の午後4時～午後10時

※8/25～9/8、1/2～1/17は毎日相談できます。

【全県民対象】

＜あいちこころほっとライン365＞

電話番号 052-951-2881

※毎日午前9時～午後8時30分



きたちゃんインフォメーション



◆「おおぶクールシェアスポット」について◆

大府市では「おおぶクールシェアスポット」として、市内公共施設や一部の民間施設を、6月から9月までの間開放しています。「おおぶクールシェアスポット」は、極端な高温時における熱中症による重大な健康被害の発生を防止するため、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）、暑さをしのげる場所として開放されます。これらの施設には、下のようなポスターが目印として掲示されています。

スポットは北山公民館や市役所を含め、65カ所あります。詳細は、大府市公式ウェブサイトをご覧ください。



きたちゃんインフォメーション



◆「おおぶ地域クラブ活動」について◆

この8月から、大府市内中学校においては、土日の部活動を行わず、代替りの活動として「おおぶ地域クラブ活動」が開始されています。直接、小学生には関係ありませんが、中学校の部活動の様子が大きく変わる取り組みなので、紹介します。以下に少しだけ…。

- 平日の部活動で入部している種目とは違う種目のクラブに入ることが可能
- 通学する中学校で実施するクラブに参加することが基本。ただ、通学する中学校にない種目のクラブは、指定校での参加が可能
- 参加するためには、参加料や保険料等の費用が必要

※「おおぶ地域クラブ活動」について詳しくお知りになりたい方は、大府市公式ウェブサイトにおいて「大府市の中学校部活動地域展開に向けた取り組み」もしくは「おおぶ地域クラブ活動」で検索すると関連資料を見ることができます。





◆各種工事について◆

夏休み中、前号でお知らせした各種工事や作業が行われました。その関係で、夏休み中の来校や運動場等施設利用について制限をかけさせていただきました。皆様のご協力により、着々と工事等を進めることができました。ありがとうございました。

前号でもお伝えしましたが、全ての工事や作業が夏休み中に終わっているわけではありません。以下の箇所については、工事が継続します。引き続きご不便をおかけしたり、制限があったりしますが、ご協力をお願いします。

- ・工事1：プールの駐車場化・防球ネット設置工事（工期は10月中まで）
- ・工事2：東門改修工事（一部閉鎖は解除の予定）
- ・工事3：エレベーター設置・周辺整備工事（工期は9月中まで）

ケロけるん

最近、自分で自分を心配していた。例えば、毎朝繰り返し同じ日課なのに、薬を飲み忘れたり、洗い物を出し忘れたり。何の用があつて職員室に行ったか思い出せなかったり、捜し物が増えたり。老いる自分を感じてしまう▼そんなとき、ふと見た番組で『いとうあさこ』さんがこんな発言をされていた。「忘れちゃうって、神様が人間の体の負担を減らしてくれているのかなと思つて受け入れることにしている。忘れてたら忘れたで、もういつかと、これだわらない」▼この歳になり、忘れてしまうという状況は、何か能力や機能が失われた結果だと思つていたけれど、与えられたものだったんだ。これは素晴らしい気付き！▼とするなら、加齢による衰えには逆らえないという意味のことわざ「寄る年波には勝てない」などは、表現を変える必要がある。「寄る年波に乗ってサーフィン」なんてのはどうだろう。